

Y's Men International

YMI

WORLD



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members



YMIワールド
2023-2024 No.2
日本語版

内容: 追悼 元国際会長 レイチェル・R・リーグ: パーソナリティ: メリー・カストロ・デ・グスマン — 情熱的なボランティアとプロフェッショナル・YMI フォーカス: YMI 環境委員会 (グリーンチーム): コリン・ランビー委員長 — ソーシャルメディア時代のコミュニケーション
元国際会長 ジョウン・ウィルソン (カナダ) — ゲスト・エッセイ: 公的リーダーシップと意思決定
ジョセフ・C・イベクウェ博士 (ナイジェリア、アブジャワイズメンズクラブ) ・マイクロヒストリー: 私たちのニュースの発行 - YMW の後継誌と編集長 デビー・レッドモンド国際歴史家 - 地域からのニュース: アメリカ、韓国、台湾 / マレーシア、香港、デンマーク、インド — カメルーンとインドからの TOF ストーリー — 最後のページ: 記録のために

編集長のページ

読者の皆さまへ



過去 8 年と少し、国際本部のこの編集チームは、YMI の国際的な機関誌として、ワイズ運動の活動や現代的な関心事を反映し、地域社会への関与という形で私たちが反応させるような、適切な雑誌をお届けしようと懸命に努力してきました。しかし今、私たちは自分たちがやってきたことを見直すときが来ています それは本当に私たちの運動や大多数の会員が望んでいたことなのか、それとも私たちは、自分たちの道を踏み外していたのでしょうか。

YMI ワールドの過去 33 号は、毎回、予定どおりに各四半期の終わりまでに皆さまの手元に届いたと自負しています。しかし、第 34 号となる今号は、個人的な理由もあれば制度的な理由もあり、多くの理由で遅れていました。私たちは、適切な情報を共有するために奮闘してきました。また、YMI の「公式」出版物は他に 3 つあります。国際会長ニュース、ユース・ワールド、PIP（元国際会長）ニュースレターの 3 誌が、同じ読者の注目を集め、時には内容が重複することもあります。このような要因が重なり、2024 年 2 月に予定されている年次会議に、私たちの発行方針を見直すよう提言することになりました。皆さまのご参加とご指導をお願い申し上げます。

本誌は、正確には 1936 年以来 87 年間、ほとんど途切れることなく続いてきました。ソーシャルメディアツールやアプリが充実し、メッセージを効率的に伝えられるようになった 21 世紀において、会員とのコミュニケーション戦略を再検討し、一旦休まなければならないとしても、気をむか必要はないでしょう。

今号では、1970 年代にワイズメンズクラブ国際協会への女性参加を推進した元国際会長レイチェル・リーグに敬意を表するとともに、ソーシャルメディア時代のコミュニケーション、公的リーダーシップと意思決定について、いくつかの考察と有益な

チムシャーツイワイズメンズクラブのメンバーと青少年と地域社会を支援する香港 YMCA の「意味のあるクリスマス 2023」パーティーの子供たち 12 ページもご覧ください

YMIワールド

ワイズメンズクラブ国際協会

国際本部: 121 Rue de Lausanne CH-1202 Geneva スイス

国際編集長: コシー・マシュエ

日本語版翻訳グループ: 田尻忠邦 (委員長・大阪)、

田中博之 (東京多摩スマイル)、藤原一正 (甲府やまなみ)、

生川美樹 (川越)、利根川恵子 (川越)、花輪宗命 (東京八王子)、

比奈地康晴 (東京)、谷本秀康 (広島)、坂本千春 (大阪センテナリアル)、

中井信一 (奈良)、前田香代子・上村眞智子 (熊本ジェーンズ)

印刷: (株)三浦印刷所 三浦克文 (岡山)

記事を掲載していきます。国際ヒストリアンのデビー・レッドモンドは、創刊から 87 年にわたり会報の編集に携わってきた編集発行人のプロフィールを紹介しています。また、いつものように地域からのニュースのコーナーもあり、世界のさまざまな地域でメンバーがどのような活動をしているかを知ることができます。

先日ドバイで閉幕した COP28 から一筋の希望の光が射しました。190 カ国すべてが「グローバル・ストックテイク」と呼ばれる文章を採択し、初めてエネルギーシステムにおける化石燃料からの脱却を各国に促したのです。本号に掲載されたグリーン・アンバサダーのコリン・ランビーのレポートでは、2 酸化炭素排出量の削減に取り組むよう改めて呼びかけています。親愛なる友人の皆さま、結局のところ、私たちは、さまざまな地域で運動がどのように機能するかについて、多くの見識と経験を得ることができ、充実した旅であったと申し上げたいと思います。これまでご寄稿いただいたすべての方々に感謝申し上げますとともに、読者の皆さまにとって実り多き有意義な 1 年となりますようお祈り申し上げます。

ワイズリー

コシー・マシュエ

私の本棚から

固体はすべて空気に溶ける: 近代性の経験

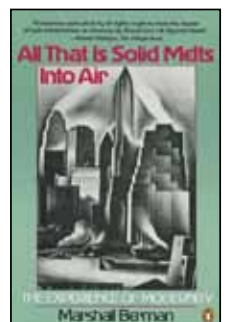
マーシャル・バーマン著

これは、驚くべき本です。近代性を説明しようとする著作の多くは、フランス革命を出発点としているようですが、バーマンの強烈で広範な考察は、ゲルマンやロシアの思想にはるかに根ざしています。彼は、ゲーテやマルクスといった哲学者を用いて、近代性の感覚そのものがいかに文学から発展してきたか、そしてその感覚が現代において地理や都市計画の問題にいかに関与しているかを示そうとしています。

バーマンの分析は、目を見張るものがあります。これほど知的で巨大なテーマについて、これほど持続的な集中力と規律をもって、これほど大きく力強い主張を引き出せる作家は、そうはいません (エドワード・サイードやスーザン・ソンタグが思い浮かびます)。本書の文章は、猛烈に独創的で無慈悲です。

とはいえ、1960 年代から 1970 年代を考察しようとするこの本の最後のセクションは、私には少し弱く感じられました。単純に、より自伝的であり、明らかに自分の時代について書くには少し個人的だからです。しかし、この作品は 30 年前のものであり、近代性についての主張、今日の世界を作り上げている混沌とした絶え間ない変化と破壊の力についての主張は、1980 年代前半にそうであったはずのものよりも、今の方がより真実味を帯びています。これほど素晴らしい作品が、これほど軽視されてきたことが信じられません。

(独自レビュー)



追 悼

元国際会長 レイチェル・R・リーグ
第 65 代国際会長 — 1990/91
1933 年 7 月 10 日～ 2023 年 12 月 15 日



ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）は、2023 年 12 月 15 日（金）に亡くなった元国際会長レイチェル・R・リーグを悼みます。享年 90。追悼ミサは、2024 年 1 月 13 日米国セントルイスにて執り行われました。先駆者であり、女性のエンパワーメントのシンボルであったレイチェルの遺産は、ワイズメンズクラブ国際協会の中での目覚ましい貢献と感動的な歩みによって刻まれました。教育学の修士号を取得した第一世代の大学卒業生の彼女は、小学校の校長を務め、仕事と家庭の両立に並々ならぬ情熱を注ぎました。

ワイズメンズクラブ国際協会での彼女の在職期間には、重要な節目が有りました。1986 年から 1989 年まで国際議員、1987 年には地域会長に選出されたレイチェルの最も顕著な功績は、1990 年に初の女性国際会長になったことで、この役割において彼女は、将来の会長の高い基準を打ち立てました。レイチェルは、ワイズメンズクラブ国際協会が国連経済社会理事会 (ECOSOC) の NGO 協議資格を取

得する際にも尽力しました。彼女のリーダーシップは、YMI の活動を国連のアジェンダに合致させる上で極めて重要な役割を果たし、その後、現在、重要なグローバルプログラムとなっているロールバック・マラリア活動を通じたマラリア撲滅への組織の関与に大きく貢献致しました。レイチェルの活動は、公式の役割だけにとどまりませんでした。数々のプロジェクトや募金活動への参加は、教育とエンパワーメントへの揺るぎない関与と相まって、彼女の家族やより広い地域社会の中で深い尊敬と賞賛を集め、大切にされて影響力の有る人物としての彼女の遺産を確固たるものにしました。

彼女の素晴らしい功績に対して、2011 年、レイチェルは YMI の最高賞であるハリー・M・バランタイン賞を受賞しました。彼女の歩みは、男女平等を求める広範な闘い、そして 1974 年に入会が認められて以来、ワイズメンズクラブ国際協会の中で女性が成し遂げてきた大きな前進を反映しています。

メリー・カストロ・デ・グスマン 情熱的なボランティアであり職業人

彼女は、40年にわたりリーダーシップの発展、推進、提供に奮闘しつつ、ボランティア活動に専念してきました。

乳がんを患い、その治療中にもかかわらず、心惹かれる大義を支援するためにイベントや会合に出席しています。彼女の情熱はボランティア活動であり、何十年もの間、この環境に身を置いてきました。それは何も止めることはできません。

メリー・カストロ・デ・グスマン(74歳)は、ボリビアのコチャバンバで、アルベルト・カストロとエルサ・アンドレの間に生まれました。彼女は、1990年からサンタ・クルス・デ・ラ・シエラに住んでいます。バイリンガルの公認会計士であり、ロベルト・グスマンと結婚し、ジャン・ポールとスデンカ・グスマン・カストロという2人の子供がいます。

ロベルト・グスマンは、国連、米国国際開発庁、国連食糧農業機関、ドイツ連邦政府技術協力機関、石油会社などの国内外の企業や組織で働いた経験があります。

メリーは、40年にわたるボランティア活動の中で、サン・ビセンテ・デ・パウロ協会、父母学校、女性団体連合会、専門職大学女性協会、汎アメリカ円卓会議で働き、そして現在はワイズメンズクラブ国際協会(YMI)のサンタ・クルス・デ・ラ・シエラにあるクラブに所属しています。



クラブでのボランティア活動とは何でしょうか。

私たちは孤児、障がい、シングルマザーのための施設、コミュニティでボランティア活動をしています。私はYMIのサービスクラブの会長を2年間つとめ、その後、ラテンアメリカ区理事になりました。さらに、2024年7月1日からは2期、ラテンアメリカのエリア会長および国際議員に就任します。

この人道的活動の報酬は何でしょうか。

任務達成の満足感と 私たちが助ける人々の愛に満ちた顔です。

職業人として、また、ボランティアとして、どのような評価を受けましたか。

職業人としてのキャリアの中で、例えば、職業人連盟からの職業人功労金十字章、監査公認会計士として公認会計士オブ・ザ・イヤー、そして、専門職大学女性協会(全国および部局)、女性機関連盟、汎アメリカ円卓会議、ラテンアメリカのワイズメン/ワイサービスクラブ等の企業やボランティア団体から表彰状、盾、メダルを送られました。

乳がんであることがわかったのはいつですか。

2021年に乳がん患者であることを知らされました。私は入院し、ボランティアをしていた病院で手術を受けました。神様、家族、医者たち、多くの友人の祈りに感謝し、そして、今日、私はこの難関を乗り越えたと言えます。

病気になったからといって 私は活動を止めませんでした。化学療法の合間に クラブメンバーとして、YMIの区理事として ドバイ、台北、ブラジル、ケニアなどに招かれ、プレゼンテーションを行いました。ボリビア代表として、堂々と

戦うことができる姿勢を見せるために、何も無いところから力を引き出しました。

国際的なリーダーシップを持つボランティアとして、若い人々たちへのアドバイスはありますか。

リーダーとして、また女性ボランティアとして、ワイズメンズクラブ国際協会の2024年/2026年国際議員に任命されたことを誇りに思います。

2024年7月1日以降、世界各地から選出された国際議員15名の中には少なくとも4人の女性リーダーがいます。現状においてこれは良いことであり、より多くの若い女性たちが、人類への自発的な奉仕を通じて、リーダーシップの最前線に立つことを私は望んでいます。

私は、より多くの女性が恵まれない人々のために自発的な奉仕活動に参加することを鼓舞し、動機づけたいのです。職業人として、時間と愛情を捧げることによって、この世界をより良いものにするために。私たちがこの組織で行っているように、平和と調和、そして人間への多くの愛のために働くために、私たちが授かった贈り物を分かち合うのです。



台北でのYMI創立100周年記念祝賀会でのメリー

YMI 環境委員会(グリーンチーム)

コリン・ランビー、YMI 環境委員会委員長

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来しました。リーダーたちは、先導していかなければなりません。躊躇や、言い訳は必要ありません。」これは先日の記者会見での国連事務総長の言葉です。アントニオ・グテーレスは続けて、「世界的な気温の上昇を1.5度に抑えることはまだ可能ですが、それは劇的かつ早急な気候変動対策によってのみ可能です。」と述べました。

私たちは、劇的で早急な気候変動対策をとることができます。その一例が、フィリピンのマカティ YMCA ホテルに50kWの太陽光発電システムを設置するためにYMIが一部資金を提供したことです。しかし、年に1つのプロジェクトはリーダーシップではなく、私たちの役割を果たすためのお粗末な言い訳です。マカティ YMCA の太陽光発電プロジェクトを、毎年何十も行ふ必要があります。

多くの国々が、2050年までに炭素排出量を正味ゼロにすることを目指しています。アントニオ・グテーレスが言うように、「劇的で早急な気候変動対策」があれば、気温上昇を1.5℃に抑えることは可能です。炭素排出量は依然として多くの国で増加しており、気温上昇を1.5℃に抑える可能性はかなり低くなっています。

国連や世界保健機関(WHO)などの報告書は、私たちが3℃程度の気温上昇に向かう可能性が高いことを毎日のように私たちに警告しています。気温上昇温度の1.5℃と2℃の差による影響は、2018年のIPCC報告書に記載されています。その差は相当なもので、次のような影響が含まれます：世界のいくつかの地域では、例年より3℃高い熱波など、より多くの異常気象が多発するでしょう。熱波、火災、洪水など、例年より熱い天候によって悪化する事象に気づかない、あるいは耳にしないことは難しいでしょう。

私たちは、どうすればよいのでしょうか？ YMI 会員は、平



マカティYMCAホテル屋上のソーラーパネルの一部



ソーラーパネル設置の除幕式に出席した
マカティYMCAの理事たちとYMIのリーダーたち

均して年間約10トンの炭素排出を行なっています。排出の原因は、内燃機関車や飛行機での移動、石炭を使って発電された電気の使用、暖房用の化石ガスの使用などによるものです。国連のような信頼できる組織から「カーボン・オフセット」を購入することで、毎年の排出量を「相殺」することは可能です。しかし、YMIのメンバーとしては、私たちのパートナーであるYMCAも恩恵を受けることができるカーボン・オフセット・プロジェクトに投資する方が理にかなっています。YMIがこれまでにYMCAを支援した例としては、照明のLED化や屋上での太陽光発電プロジェクトなどがあります。

実現可能なプロジェクトに必要な規模に達成するためには、会員がクラブや、彼らの部や、区、地域での寄付を組み合わせる必要があります。また、会員やクラブが寄付できる国際基金もあります。<https://www.wysmen.org/our-work/environment/>

YMCAで行われるプロジェクトの規模では、国連の大規模プロジェクトが1トンあたり10～20米ドルであるのに比べ、1トンあたりのコストは高くなります。YMCAにおける照明の改良は、おそらくまだ1トンあたり20米ドル以下で実施できそうですが、屋上ソーラーパネル設置プロジェクトは、削減された排出量1トンあたりのコストが高く、1トンあたり50米ドルから100米ドルです。私たちは、プロジェクトへの資金提供は一部のみとし、そのためYMCAも費用の一部を負担しています。

私は、すべてのYMIクラブ会員が、地元レベル、あるいは部や、区、地域、国際レベルで、温室効果ガスの排出を削減するプロジェクトに貢献することを目指しています。

バイデン大統領は最近、「人類が直面している核戦争よりも恐ろしい唯一の存亡の危機は、今後10～20年の間に地球温暖化が1.5度を超えることだ」と述べました。

あなたは、リードしますか。それとも言い訳をしますか。

ソーシャルメディアの時代のコミュニケーション

元国際会長 ジョウン・ウイルソン(カナダ)



ここカナダでは、冬将軍が時折襲ってくるものの、日は長くなり、雪は少しずつ溶けて来ています。少なくとも北半球では、春はもうすぐそこまで来ていると言っていていいでしょう。そして、世界中のキリスト教徒はまもなく4月のイースターを迎え、復活の主を祝うのです。

ソーシャルメディア

私たちは、毎月とは言わないまでも、毎年新しい形の電子コミュニケーションが登場する世界に生きています。このような新しい形式は、多くの人にとって魅力的である一方、また私たちの多数にとって、テクノロジーに「ついていく」ための課題を倍増させるものでもあります。私自身、他の新しい形態を追加することはおろか、すでに持っている形態の最新情報を維持することにも苦労しています！しかし、私たちは、進化を続け、ソーシャルメディアや電子コミュニケーションの現実の変化に適応していかなければなりません。同時に、**私たちは皆、多くの情報が氾濫する中で、人々や重要な期待との「接触を失わない」ようにしなければなりません。**私たちはそのすべてにどう対処するか、絶えず選択を迫られています。英語が母国語でない多くのメンバーにとっては、さらに難しいことだと言えます。

コミュニケーションの秘訣

以下は、私にとって助けとなったいくつかの助言です。これらのアイデアを用いたり、クラブ、区やエリアのチーム内で他の人と共有したりすることができるかもしれません。

1. 毎日Eメールをチェックし、次のように整理します。

- 素早い返信: 読みながら返信する。
 - 返信の必要はない: 情報提供のためだけの写しとしての受信なら
 - フラッグを立て、より詳しく対応する: 毎日、フラッグを立てられた案件を確認し、優先順位をつける。
 - 重要なメッセージにはタイムリーに返信する: 優先順位に従って
2. Facebook、Twitter、WhatsAppその他のソーシャルメディアを利用している場合は、毎日、数日おき、毎週など、定期的にチェックする。
3. やるべきことを箇条書きにした「To Doリスト」を作成し、いつまでにやるかを決めておく。これを使って、より多くのアクションが必要なメールからの依頼をメモする。
4. カレンダーを管理し、重要な期日を設定し、期限内に終わらせるために各タスクに着手する時を設定する。
5. 電子的な手段で希望する反応が得られない場合は、電話、Zoom、Skype、その他のオンライン会議形式を用いる。
6. ソーシャルメディアや電子コミュニケーションに関する新しいことを学ぶ必要があるときは、若いメンバーの助けを借りる。私たちが圧倒さ

れるようなことでも、彼らにとってはごく当たり前のことなのです！

電子コミュニケーションやソーシャルメディアを管理するための戦略はたくさんあるでしょう。そして私ののは、とてもシンプルです。重要なのは、私たち一人ひとりが自分なりの方法を見つけ、それを使い、うまくいくまで適応させ、調整する必要があるということです。そして、自分のメッセージに返信をもらいたいと同じように、他の人への返信も忘れないようにすることです。本当に変化をもたらすには、私たち全員の力を合わせる必要があるということを忘れないでください！

コミュニケーションの7つのC

定義: コミュニケーションの7つのCとは、コミュニケーションスキルを向上させ、メッセージが意図したとおりに理解される可能性を高めるためのチェックリストです。

効果的なコミュニケーションを行うためには、以下のコミュニケーションの7つのCを念頭に置くべきです。



1. 明確さ (Clear): メッセージは、明確で、受信者が容易に理解できるものでなければなりません。コミュニケーションの目的が、送り手にとって明確でなければ受信者は納得できません。メッセージは一度にひとつの目的に重点を置くべきで、ひとつの文の中でいくつものアイデアを取り上げではなりません。

2. 正しさ (Correct): メッセージは、正しいものでなければなりません。すなわち、正しく言葉が使われるべきであり、送り手は、文法的な間違いやスペルミスがないようにしなければなりません。また、メッセージは、正確でタイミングが良いものでなければなりません。正しいメッセージは、受け手により大きなインパクトを与えると同時に、送り手の士気も高まります。

3. 完全さ (Complete): メッセージは、完全でなければなりません。つまり、意図する読者が必要とする関連情報をすべて含んでいなければなりません。完全な情報は、受信者のすべての質問に答えを与え、受信者のより良い意思決定に役立ちます。

4. 具体性 (Concrete): コミュニケーションは、具体的であるべきです。つまり、メッセージは、明確で、誤解の余地を残さないようなものでなければなりません。メッセージの中では、送り手が言っていることを立証するために、すべての事実と数字が明確に述べられるべきです。

5. 簡潔であること (Concise): メッセージは、的確で要点を押さえたものでなければなりません。送信者は、長い文章を避け、できるだけ少ない言葉で主題を伝えるようにします。短く簡潔なメッセージは、より包括的であり、受信者の注意を引きつけるのに役立ちます。

6. 配慮 (Consideration): 効果的なコミュニケーションを行うためには、送り手は、受け手の意見、知識、考え方、背景などを考慮しなければなりません。コミュニケーションを行うためには、送り手は対象となる受け手と関わりを持たなければなりません。

7. 礼儀正しさ (Courteous): 送り手は、メッセージが肯定的で聞き手に焦点を当てたものになるよう受け手の感情や視点の両方を考慮しなければなりません。メッセージは、偏ったものであってはならず、受け手への敬意を示す言葉を含まなければなりません。

注: このチェックリストは、文書および口頭の両方のコミュニケーションにあてはまります。

出典: <https://businessjargons.com/7-cs-communication.html>

この記事は、国際会長ニュースの2017年4月号に掲載されたもので、許可を得てここに転載いたしました。

公的リーダーシップと意思決定

ジョセフ・C・イベクウェ博士、ナイジェリア、アブジャワイズメンズクラブ

私たちが、「パブリック・リーダーシップ」という表現を用いる時はいつも、指導者が公的な場で他者と共に、他者のために、他者に対しておこなう行為を意味します。公的リーダーシップが発揮される領域は異なっており、企業のリーダーシップ、宗教のリーダーシップ、教育のリーダーシップ、政治のリーダーシップなどがあります。これらのパブリック・リーダーシップの領域のそれぞれにおいて、その運用と実践の技術と行動に関して視点が異なります。

これらの領域は、それぞれ極めて重要ではありますが、中でも最も影響力があり、最も広範囲にわたる領域は政治に関わるリーダーシップです。この事実を理解するまでは、経済的にも物質的にも豊かな人たちの一部が、なぜ政治的権力を手に入れようとあぐさしているのか合点がいかないでしょう。政治的権力は、公の場で最も影響力を持っています。従って、道徳性に欠け、政治権力の行使に必要な情熱に欠ける人物に政治権力を恣意的に委ねるべきではないのです。才能や有能さは好ましい資質ですが、道徳性や他者に対する思いやりとは別物です。道徳性と他者に対する思いやりが、指導者がその才能と有能さを政治に関するリーダーシップにおいてどのように発揮するのかを決定するのです。

国が繁栄するか否かは、その国の政治的リーダーシップの質にかかっています。どの国にとっても責任感が強く、対応力のあるリーダーシップを追い求めることが、唯一最も重要な国民の関心事であるべきです。

リーダーシップの極めて重要な3つの特質

「質の高いリーダーシップ」について語る際に、私たちは、実のところリーダーシップの極めて重要な3つの特質（リーダーシップのスキル、リーダーシップの価値、リーダーシップの資質）を多く有している指導者に言及しているのです。これら3つの特質は、指導者が誰であるかに関わらず、その指導者の有能さを際立たせるのです。

リーダーシップとは行為であり、力量でもあるがゆえに、リーダーシップの最も重要な力量は、意志決定力です。自身の仕事において成功したいと願うリーダーは、意志決定の能力に長けていなければなりません。憶測や気まぐれではなく、意図的で緻密な計算に基づいていなければならぬのです。

意思決定を行う際に、リーダーは4つの鍵となる重要な質問を問ひかけ、それらに対して明確な答えを出さなければなりません。

「何を」あなたは達成したいのか。あなたは自分が達成したい事柄に関して具体的で明確であるべきです。

「どのようにして」それを達成したいのか。指導者が達成したいと考えている事柄に関わる「手段」はたくさんあります。この

「手段」を探る際には深い考察が必要です。つまり異なる選択肢を詳細に検討することです。

「なぜ」本当にそれを達成したいのか。これは目的と利害に関わる質問です。達成する目的は何か、それを達成しようとすれば誰の利害が守られ、誰が影響を受けるのか。利己的な目的は、しばしば、その達成のために用いられる「手段」を脆弱なものにしてしまいます。

「どのような」このプロジェクトを考えている通りに実行した場合、どのような影響や結果につながるのか。コスト（費用）に与える影響、人々の人生と生活、安全と幸福、繁栄と幸福に与える影響などなど枚挙にいとまがありません。

影響を考察するは、しばしば決定されるプロジェクトそのものよりも、はるかに重要なのです。

指導者が意思決定の過程を検討し、その事柄を把握し終えても、まだすべき事は残されています。検討すべきその他の事柄は以下のようなものです。その決定をどのような方法で国民に発表するのか。それをいつ発表するのか。その決定が国を構成する異なる人々に与える特定の悪影響を軽減する為にどのような対策が用意されているのか。

リーダーシップとは決定事項の与える影響を理解する事である

リーダーが行うことは何であれ影響を及ぼします。変革を行う真のリーダーは、自らの決定が国民に及ぼす影響について十二分に認識しています。従って必然的な影響を軽減し、減じるための事前策を講じるのです。それによって、指導者の他者に対する思いやりが明らかになります。他者に対する思いやりとは単なる薄っぺらな言葉ではなく、指導者の行動によって実践されるものなのです。指導者たるものは決定が与える影響を軽減するように熟考し、行動しなければなりません。

リーダーシップとは、意思決定や行動において単に勇気や決断力を示すことではありません。むしろ勇気ある決断や行動がもたらす影響を理解し、それを軽減できなければならぬのです。

公的リーダーシップの根本的かつ人道的な目標は、技と知恵と忍耐と他者に対する思いやりによって、より良い人生に至る、いばらの道を先導することなのです。機才に欠ける指導者は、リーダーシップを発揮しようとしてより多くの人々の人生を台無しにしてしまうのです。これがリーダーシップのもたらす負の影響です。

とどのつまり、公的リーダーシップとは、良い人生を享受しようとして、結果的に国民にひどい苦しみを強いる資質ではなく、国民に幸福をもたらす資質なのです。



ジョセフ・C・イベクウェ博士は、ナイジェリアの首都アブジャにあるリーダーシップ・教育開発 FLED- 財団の創設者兼最高経営責任者

私たちのニュースの発行 -YMW とその後継誌の編集長 国際ヒストリアン・デビー・レドモンド



ワイズメンズクラブは、ほぼ創立当初から、自分たちの情報やニュースを他のクラブメンバーだけでなく、入会希望者とも共有する必要性をよく認識していました。1922年6月からオハイオ州でクラブの宣伝をするようになりましたが、定期的に情報を送るという考えは1923

年1月から始まりました。当時は出版物のための予算が確保されていなかったため、彼らはYMCAが提供するAssociation Menという出版物を利用しました。彼らは、その月刊誌に掲載されるコラムに記事を書くことを許されました。ワイズメンズクラブが発展するにつれ、コラムの数は増え、ほぼ1ページを使ってニュースを伝えるまでになりました。世界恐慌が始まると、YMCAは会報紙の発行を中止したため、この状況は長くは続きませんでした。少なくとも

ニュースや情報を発信するために他の手段が模索され、国際書記長兼会計は、クラブ会長だけにニュースレターを送るようになりました。ワイズメンズクラブの人数と場所が増えるにつれ、クラブの枠を超えた最新のニュースをどうすれば提供できるかが検討されるようになりました。1936年、新しい方法を試すことが合意され、Y's Men's World (YMW) が創刊されました。最初の数号には、多くの有料広告が掲載されましたが、この会報紙に賛同してくれる企業を得るのは至難の業でした。編集者のハーバート・ブルーは、国際書記長兼会計のヘンリー・グラ임ズの家の近くにいたため、二人はこの会報紙の編集に協力しました。(YMCAの会報紙が廃刊になる前もそうしていました)。

そして、アイオワ州のワシントンに住む一人の青年が、出版に挑戦することを申し出ました。彼は家業の印刷機を利用して会報紙を作ることにしました。デイブ・エルダーは、1937年11月にこの会報紙の2代目編集長に就任しましたが、1963年まで編集を続けたため、実に最も長く編集長を務めた人物です。(彼が従軍し、病気療養中であった数号だけは、妻と元国際会長が担当しました)。



ハーバート・ブルー



デイブ・エルダー

第二次世界大戦後の編集者
1963年9月、ウォレス・O・ネルソン（通称ウォーリー）が就任を承諾し、ミネソタ州ミネアポリスから会報紙が発行されました。ウォーリーは、この会報紙に10年間貢献しました。彼は、先代デイブ・エルダーが使っていたのと同じフォーマットを維持し、質の高い情報提供を続けるために懸命に働きました。ウォーリーがその職を退いたとき、後を引き受けてくれる人はいなかったようです。

1973年から1976年まで、(新憲法が承認されていたため) 国際理事会から国際議会への変更、女性の会員加入を含む会員資格の変更など、多くの変化が起きていたにもかかわらず、会報紙は発行されませんでした。絶望的な状況の中、国際書記長のイングヴァー・ワリンは、後継者を探す傍ら、新しいY's Men's Worldを出版することを選びました。

エイジル・K・アンダーソンがその座に就きました。彼はデンマーク人であり、英語が苦手であったため、しばしば誌面の誤りを詫言っていました。会報紙はサイズが小さくなり、写真も少なくなりました(白黒のみ)。当時の考え方は、より小さなサイズの雑誌を提供すれば、『リーダーズ・ダイジェスト』誌のようにポケットに入るだろうというものでした。エイジルは素晴らしい仕事をし、1977年から1982年に急逝するまで続けました。



ウォレス・O・ネルソン



後年のイングヴァー・ウォリン

続いて、カナダのオンタリオ州オタワからアンディ・ハミルトンが就任しました。各号とも、「投稿は、編集者が望ましいと判断した場合、短くしたり書き直したりすることがある。質の高い白黒写真が必要である。ポーズを取った写真は送らないでほしい。手紙やコメントも募集

するが、即答できない場合もある。」という編集方針を打ち出していました。アンディは編集長として良い仕事をし、1982年から1987年まで務めました。

1987年には、インドのクイロン出身のS・ラマチャンドランが、副編集長のC・K・トーマスとともに編集長に就任しました。1993年、ラマチャンドランはインド・ケララ州コーチン出身のC・K・トーマス副編集長に職を譲りました。C・Kは2000年まで続けました。C・K・トーマスは「新聞」でありながら、表紙をカラー刷りとし、カラー写真を取り入れた会報紙を提供することに努めました。

そこから、ラテンアメリカがこの出版物の制作に挑戦する番となり、ウルグアイのモンテビデオ出身のマルチナ才能を持つシルビア・レジェス・デ・クロッチがその任に就きました。シルビアがもたらした最大の変更は、リーダーズ・ダイ

ジェスト誌のサイズではなく、標準的な雑誌のサイズに戻したことです。2000年から2003年まで、彼女はメンバーが楽しみ、共有できるように多彩な記事や写真を提供しました。

イギリスが登場し、ブリストルのキングスウッドからアラン（ウォーリー）・ウォリントンが引き継ぎ、

2003年から2013年まで、愛される会報紙を発行しました。次の編集者を探すことになり、各エリアに協力を要請しました。誰もそのポジションに就くことなく、YMIの職員であるジェームズ・オレに新たな任務が課せられました。ジェームズは2013年から2015年までの2年間、他のすべての仕事と並行してこの会報紙を担当しました。ジェームズは、現在のYMIワールドの最終編集においてコシーをサポート

し続けています。

そして2015年、コシー・マシューがこの会報紙を可能な限り「インターナショナル」を保ち、皆に情報を提供し続けることを決意し、この役職に就きました。季刊紙といえどもこのポジションは大変で、コシーは充実した愛される会報紙にするため、多くの人に協力を依頼し、多くの時間を費やしました。

YMI World (旧 Y's Men's World) の編集長は、ワイズメンズクラブの101年のうちの87年間において、たった12人しかいません。献身的な編集長のリストです。どんな種類の出版物であれ、編集を成功させるには才能と技術、そして忍耐が必要です。私たちのYMIのコミュニティとその働きの真の意味を示すことを願い、それぞれの出版物には多くの心と魂が込められています。



ジェームズ・オレ

Y's Men's World/ YMI World の編集長一覧

- ハーバート・ブルー(アメリカ合衆国・マサチューセッツ州)
- 1936-37
- ディビッド・R・エルダー
(アメリカ合衆国アイオワ州ワシントン) - 1937-63
- ウォレス・ネルソン(アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス)
- 1963-73(1973年1月から1976年10月までは発行無し)
- イングヴァー・ウォリン(スイス・ジュネーブ) 1976-77
- エイジル・K・アンダーソン(デンマーク・カルンボー)
- 1977-82
- アンディ・ハミルトン(カナダ・オンタリオ州オタワ)
- 1982-87
- S・ラマチャンドラン(インド・クイロン) - 1987-93
- C・K・トーマス(インド・ケララ州コーチン) - 1993-00
- シルビア・レジェス・デ・クロッチ(ウルグアイ・モンテビデオ)
- 2000-03
- アラン(ウォーリー)・ウォリントン
(英国ブリストル・キングスウッド) - 2003-13
- ジェームズ・オレ(スイス・ジュネーブ・国際本部) - 2013-15
- コシー・マシュー(インド・バンガロール) - 2015-23

台湾の台北で開催された国際議会の決議により、2016-17年の第1号から会報紙の名称が「YMI World」に変更されました。



2022年、元編集長のアラン(ウォーリー)・ウォリントンとシルヴィア・レジェス・デ・クロッチと現編集長のコシー・マシュー

アメリカ:YMCA 大会に Y サービスクラブが参加



Y サービスクラブのブース

新型コロナウイルスの大流行以来初めて、米国YMCAは、ジョージア州アトランタでYMCA大会を開催しました。

アメリカ国内はもとより、世界各国から3,500人を超えるYMCAのスタッフやボランティアが集まり、祝い、学び、ネットワーク作りをし、そして新たな発見をしました。基調講演にはカリーム・アブドゥル・ジャバール、カル・ペン、リサ・リン、北米YMCA同盟会長兼CEOのスザンヌ・マコーミックが登壇しました。

YMCAのスタッフとボランティアが集まる最大のイベントであるこの大会には、330もの関連業者や展示企業が出展しました。

そのブースのひとつに、Y サービスクラブが含まれており、このブースは、南大西洋区理事のキム・ディール、ジョン・R・モットY サービスクラブ会長のフィリップ・ベルフィールドとその妻ドナ、そしてジョン・R・モットY サービスクラブ会員のデビー・オーエンズによって準備され、また、スタッフを務めていました。フィリップ・ベルフィールドは次のように述べました。「展示会場が開いてから閉まるまで何人かの大会参加者にY サービスクラブでのポジティブな経験について話を聞いたのは刺激的でしたが、私たちが話を聞いたYMCAのスタッフやボランティアの大多数は、Y サービスクラブについて聞いたことがありませんでした。」

ブースでは、YMI100周年記念マウスパッドやキーホルダーに加え、アマゾンギフトカードをプレゼントし、注目を集めていました。また、ディール、ベルフィールド、オーエンズの3人は、Y サービスクラブがYMCA、地域社会、国家、そして世界にどのような利益をもたらすことができるかを話し合いました。137人の参加者がY サービスクラブについてもっと知りたいと直接興味を示し、連絡先を教えてくださいました。南大西洋区理事のキム・ディールは、「Y サービスクラブが世界中で行ってきたことを共有し、その可能性を多くのYMCAと共有できたことは、とても素晴らしいことでした。私たちは区理事の名前とEメールアドレスを共有しましたので、種は蒔かれました。」と述べました。

Y サービスクラブのメンバーであるデビー・オーエンズは、「Y サービスクラブを多くの人に紹介するのはとても楽しかったです。キム、フィリップ、そして私は、この普及活動をどのように続けるかについて、いくつかのアイデアを持っています。ワイズメンズクラブがYMCAにとっていかに重要であるか、そしてワイズメンズクラブがYMCAにとって素晴らしい投資になると信じています。」と述べました。

アマゾンギフトカードの当選者は、フロリダ州ペンサコーラのYMCA会員部ディレクターのトレンテン・カワスでした。

トレンテンは、ディール、ベルフィールド、オーエンズの3人に、YMCAには若い会員がたくさんいて、YMCAやコミュニティにもっと参加したいと話していること、そして自分のYMCAに戻ってY サービスクラブを立ち上げたいと思っていると話しました。



Y サービスクラブ Amazon ギフトカード当選者

韓国： 全羅南道で温もりを分かち合って、 ワイズメンがキムジャンの伝統行事で団結

全羅南道の光陽邑で、500 人余りのワイズメンが、大切に育ててきたキムジャンの伝統行事に参加しました。地元の伝統的な市場で開かれた心温まる「愛のキムチ作り&分かち合いイベント」では、共同体精神が輝く光を放ちました。

このイベントは、単にキムチを作るだけでなく、冬の寒さに包まれながらも身を寄せ合う韓国人の一体感の象徴でもありました。2,000 株のキムチをキムジャンの伝統を守って寄贈し、キムチの温もりを分かち合うことは、単なる慈善行為ではなく、高齢者や苦しい家庭など、困っている隣人を助けるための意思表示でした。

ハン・イルウク地域会長、キム・ドンファ理事、部長達、クラブ

会長達、そして献身的なクラブ会員が一堂に会し、キムジャンの伝統に深く根ざす、共に助け合う本来の姿を映し出しました。キムチは、その料理としての意義を超えて、冬の期間の団結と支援の象徴としての文化的価値を持っているのです。

肌寒い空気の中に漂う作りたてのキムチの香りは、キムジャンの伝統が体現する皆の結びつきの強さを想起させました。この試みにおけるワイズメンズの団結は、この意義深い季節に全羅南道のコミュニティに温かさや連帯感を育むという彼らの決意と献身を示すものでした。



インド北東部、マニプールで温もりと希望の輪を広げる

米国地域の北大西洋区は、インド北東部マニプールの住む場所の無い人々に暖かい衣類と毛布を配布する心温まる奉仕活動を始めました。団結と優しさの精神に基づき、ワイズメンズクラブ国

際協会は、近隣と遠隔地の地域社会に前向きな影響を与え続けています。力を合わせれば、私たちは、世界に暖かさや希望をもたらすことができるのです。



新国際兄弟クラブ

2023 年 10 月 10 日、マレーシアのシルバーステート Y サービスクラブと台湾の台中エバーライフワイズメンズクラブとの間で、30 名の参加者のもと、国際兄弟クラブ (IBC) の調印式が行われました。

台湾のユウ・タオシェン理事、マレーシアのヘレナ・チー次期理事に特別に感謝いたします。おめでとうございます。



香港：子供のためにおもちゃの再生



香港チムサーチョイワイズメンクラブは、トイ・リボーン主催のユニークで創造的な方法でユースと地域社会を支援する「意義あるクリスマス2023」のために、香港YMCAに多額の寄付を行いました。これは、社会への恩返しと、人々の生活に対して積極的影響を与えるものでした。

今年香港YMCAは、「YMCAを愛し、おもちゃを愛そう」

という特別プロジェクトを実施しました。このプロジェクトの目的は、使用済みおもちゃを集め、それらを他の芸術作品に再生し、子供達に新たな喜びと創造性を与える事でした。これは成功裏に実施され、恵まれない子供たちに、忘れられない思い出を残しました。

アンディ・フー元区理事

アメリカ:恵まれない家庭のために家を建てる



アメリカ地域北大西洋区では、ニュージャージーで、「人道的住居」プロジェクトのために、素晴らしいコミュニティーサービを実施しました。多くのクラブからのボランティアが、

その技術と時間を、恵まれない地域の為の家の建築に貢献しました。

ヴァルギーズ・コラソン北大西洋区理事

デンマークのもうひとつのワイズメンショップ

リサイクルショップは、デンマーク・ノルウェー区内でのクラブ資金調達の中心になっています。今日は、デンマークのスキヤーンにあるワイズメンクラブ運営のリサイクルショップ店を紹介します。購入した商品は、全てクラブの地域社会奉仕活動に直接役立てられています。



アメリカ：セラピー牧場を支援

クロヴィス-フレズノ Yサービスクラブは、今年の社会奉仕活動の一環として、ハートオブザホースセラピー牧場をサポートすることができました。テリー・オラックは、食事の手配を見事にやってくれました。ワイズメンは、この重要な役目を推し進めるガイ&キャリー・アダムス夫妻やその他のボランティアの皆さんのお役に立てて喜んでます。



インド：観光促進のためにバイクラリー



2023年9月27日の世界観光デーに、南西インド区第4部はコヴァラムからヴァルカラまで「クラッシュライダーズ」と名付けたバイクラリーを開催しました。ラリーは午前6時30分にコヴァラムを出発し、海岸沿いのルートを走り、ヴァルカラ断崖で終了しました。このラリーは、観光業の復興を促進することを目的としており、ヴィノード・ラジャセカール部長の社会貢献活動の一環でした。ラリーには、バイカー、自動車ラ

イダー、観光客、企業代表者、さまざまなコミュニティのメンバーが参加しました。K・アレックス副部長がイベント開始の旗を振りました。閉会式は、ヴァルカラ市議会議長によって取り行なわれました。様々なワイズメンズクラブの代表者、政府関係者、観光業界の重鎮も参加しました。この集会は、素晴らしい反響を呼び、観光業再活性化の可能性を探るために地域社会から大きな支持を集めたようです。

適応のための環境修復(ERAP) カメルーン、バメンダでのプロジェクト

カメルーン北西区の住民は、有害な伝統的焼畑農法、広範な森林開発、外国企業や国内企業による採掘事業などに起因する、急速な土地の劣化と気候変動の問題に取り組んでいます。森林伐採と採掘を目的とした河川の流れの変化は、不規則な降雨、強烈な日差しや強風など悪条件の過酷な気象条件をもたらしました。このような状況は、物的損害や農業生産性への大きな影響を招き、住民を飢餓や栄養失調、汚染された水源による感染症などの危険にさらしています。残念なことに、地元の人々の多くは、自分たちの持続不可能な慣習を認識するよりも、これらの悪影響を天罰だと考えています。



2023年8月16日、YMIは、適応のための環境修復(ERAP)のためのファンドとしてTOF支援金の分割払いの第1回をプロジェクト・コーディネーターの要請に応じ、払い込みました。9月13日、YMIは第1回目の報告書を受け取り、すべての関係者が非常に協力的であったことが報告されました。この報告書では、300人の受益者が特定され、修復と保存に関する初期研修が実施されたことが概説されています。資金は、苗木と植え付け用具の初期購入に適切に活用され、プロジェクトの将来的な成功に向けて明るい兆しが見えてきました。



YMCA 農業学校(YAS) (インド・オリッサ州カタック市)

このプロジェクトの目的は、以下のとおりです。

- 約200人の若手農民を対象に、集中的な座学と実地研修を行う。(1クラス5- 20人/月)
- 代替農法を導入し、家庭の収入を増やす。
- 土地を持たない農民や季節農民の移住を抑制する。
- 安定した生活の向上のための代替収入源を求める、小作人・季節的農業を営む農民のための協同組合を設立する。

2023年8月26日、インド・オディシャ州・カタックのバガットプールでYMCA農業学校(YAS)の開校式が行われました。このプロジェクトはインドYMCAがカタックワイズメンズクラブと共同で運営しています。この開校式にはW・H・C・デイビッド、北区、東区、北東区理事、カタッククラブのメンバー、インドYMCAバガットプール・プロジェクトの委員長や委員会メンバーが出席しました。



開校式は、トレーニングセンターを始動し、プロジェクトの目的を固め、予算に関する事項を明確にする機会となりました。

記録のために



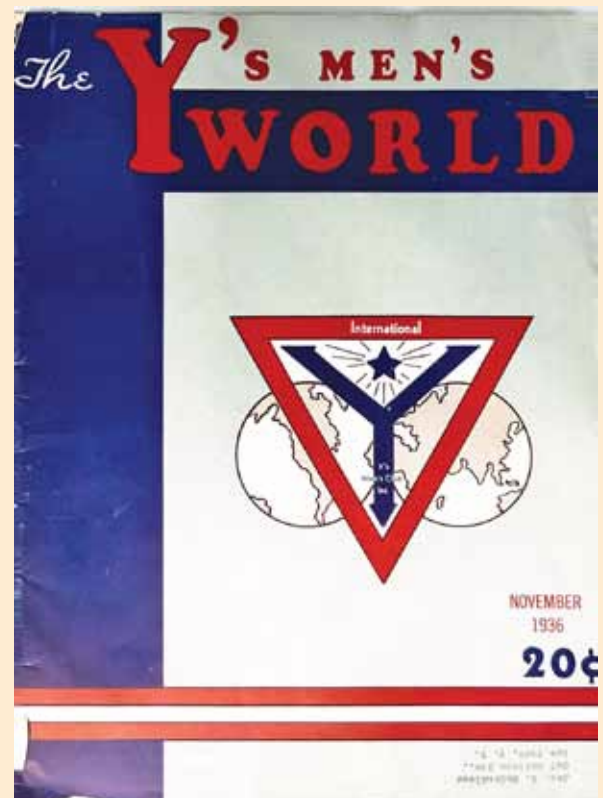
1986年の国際大会は、デンマークのオーフスで開催されました。初めて国際ユースコンボケーションが開催された大会でした。（2022年にYMCA世界大会とワイズメンズクラブ国際協議会のために私たちは、オーフスに戻ることになりました）。

国際ユースコンボケーション(IYC)

1985年が国連によって「国際青少年年」に指定されたことを受けて国際議会は、ユースサービス委員会を発足させました。この委員会は、1985年の年次会議で報告書を提出しました。委員長を務めたクレア・グラハム元国際会長は、次のように答申の基調を述べました。「この委員会の意図は、青少年に奉仕することではなく、青少年に奉仕する手段を与えることである」。

報告書での提言のひとつは、国際大会の開催時にコンボケーションの場を設けることでした。コンボケーション委員会が設置され、その可能性を検討し、次回の国際議会で報告することになりました。

委員会の勧告は明確でした。1986年にデンマークのオーフスで開催される国際大会の際にユースコンボケーションを開催すること、参加者数を150人に制限すること、参加者の年齢を15～25歳に制限すること、参加者の出席を援助するために15,000米ドルの補助金を支給すること、でした。2日間のプログラムには、クイズ、ディベート、セミナー、スポーツ・文化競技などが含まれました。この勧告は、承認され、1986年に第1回IYCが開催されました。



ワイズメンズワールド第1号 1936年

アフリカのパラダイスを見つけよう！



驚きの世界

ケニア・ナイロビで最高のホテルと評価されているサファリパークホテルへようこそ。サファリパークホテルは有名なリゾートであり、アフリカ最大で最もエキサイティングな会議場です。ナイロビの中心部にある静寂のオアシス、サファリパークホテルは、スタイリッシュでエレガントなアフリカ建築と最高に豪華な宿泊施設、きらめくウォーターガーデン、内陸のビーチ、美しく手入れされた庭園、国際色豊かなレストランが調和しています。



Tel: +254 709 732 000 | 020 36 33000
Email: sales@safariparkhotel.co.ke
www.safaripark-hotel.com

